

令和8年度朝酌小学校の教育

あいさつする子 ささえあう子 くふうする子 みがきあう子



朝酌小学校 本校の教育目標

豊かな心と たくましい実践力をもつ こどもの育成

合言葉（学校経営4つの重点）

- あ** いさつする子・・・自分から進んであいさつできる子 その場にあったふるまいができる子
- さ** さえあう子・・・友達と助け合える子 自信をもって動き出せる子
- く** ふうする子・・・学習に積極的に取り組む子 自分から表現しようとする子
- み** がきあう子・・・授業で自分を高めようとする子 体力作りや生活習慣を大切にする子

令和7年度の児童の姿から（○は令和8年度の目指す姿）

あ いさつする子

- ・朝のあいさつを元気にできる子、集団がいる。
- ・あいさつ運動に取り組み始めた。
- ・年々できるようになってきている。
- 自分からあいさつできる子。

さ さえあう子

- ・困っている子を助けたり、優しい言葉がけをしたりすることができる。
- ・助け合って行動することができる。
- 周りのことを考えて行動できる子。

く ふうする子

- ・自分の役割に一生懸命取り組む。
- ・元気よく歌うことができる。
- 積極的に考えを発信し、表現しようとする子。

み がきあう子

- ・授業で話し合うことができる。
- ・全校の前で表現したり、感想発表したりできる。
- 話をしっかり聞き、自分の意見を積極的に表現できる子。

令和8年度 重点目標 **自分から動き出そうとする子**

1学期「やってみよう」

2学期「1学期の自分をこえよう」

3学期「今の学年を卒業しよう」

今年度の「学校経営4つの重点」具体的な取組

あいさつする子

ふるまい向上

- ・あいさつ運動
- ・生活目標の設定
- ・清掃指導
- ・幼稚園との交流を通じて幼小連携を進める
- ・小中の交流を通して学園内の小中連携を進める
- ・地域の方との交流を通してふるまい向上を目指す

ささえあう子

人権意識を高める

- ・人権週間の取組（各教科の学習を通して）
- ・アンケート QUの活用
- ・教育相談（各学期実施）で積極的な児童理解を図る
- ・朝酌っ子を語る会
- ・理解教育

くふうする子

学力向上

- ・学力調査分析に基づく授業改善
- ・ICTを活用した授業（Chrombookを積極的に活用した授業）
- ・校内研究の取組
- ・書き取り会
計算会
- ・自学指導
- ・読書週間
- ・評価2期制2年目の取組

みがきあう子

よりよい体と生活習慣作り

- ・体力テストの結果に基づく体育授業改善と体力作りに取り組む
- ・メディアコントロール週間（毎学期実施）
- ・マラソンタイム
- ・なわとびタイム
- ・学校保健委員会

本校の教育目標達成の基盤として

(1)「チーム朝酌」意識

- ・個々の専門性を広げ、全体のパワーアップを図る。（教科担任制に近付ける）
- ・仲間のピンチは補い合う。（一部の不安定さを全体に波及させない）
- ・一人で抱え込まない、抱え込ませない。

(2) 全職員のベクトル合わせ

- ・「みんなが知っている」をだいにする。（情報共有、**報**告・**連**絡・**相**談）
- ・こどもの良さや変容は声に出す。（同じ目線で支援し評価）
- ・「朝酌スタンダード」を増やしていく。
- ・今年度着任した方は新鮮な感覚を大切に声にだす。それに耳を傾ける。

(3) ピンチをチャンスに！ マイナスをプラスに！ チャンスはいつもそこにある

- ・トラブル、問題行動は「指導のチャンス」と考える。

(4) 落ち着きの心は整った環境から

- ・目に見えるものを美しく整える。（上ぐつ、掃除用具、トイレスリッパ、机上、黒板、ごみなど）
⇒★見る人にも美しく ★次の人への思いやり 思いをつなぐということ
- ・言語環境を整える。（言葉遣いのチェックと指導 こどもの呼び名は職員間でも「さん」）

(5) こども以上のけじめ

- ・挨拶は大きな声を出す。（おはようございます。いらっしゃいませ。おつかれさまです。）
- ・時間と期限を必ず守る。（授業時間、提出物）
- ・共通理解したことは必ず実行する。⇒職員間の信頼関係、こどものけじめ

(6) 「これでよい」より「これがよい」に

- ・気持ちを伝えるのは「連絡帳でよい」から「会って話すのがよい」に
- ・提出や報告の期限は「間に合うのでよい」から「早いほうがよい」に